

1 はな



- ① 下館みゑ子／さく 谷田梨奈／イラスト
- ② 明治書院
- ③ 1500円
- ④ E

母親を病気で失った孫娘「はな」に向けた短歌を書き溜めたおばあちゃんと、いとお姉ちゃんである梨奈さんのイラストで構成された絵本です。はなちゃんの成長に合わせて記された短歌には、おばあちゃんの温かさがたくさんつまっています。

2 アメージング・グレース

光と希望を！絶望から救われた奴隷商人の物語



- ① 中澤幸夫／著
- ② 女子パウロ会
- ③ 1200円
- ④ 19ナ013

だれもが知っている賛美歌「アメージング・グレース」の作詞者ジョン・ニュートンが主人公の話です。奴隷貿易に携わった経験もありながら、奴隷貿易の廃止を実現させました。その背景にあるものから人間にとって大切なものを考えるきっかけになります。

3 レイチェル・カーソン いのちと地球を愛した人



- ① 上遠恵子／著
- ② 日本キリスト教団出版局
- ③ 1200円
- ④ 28カ013

環境のことが取り沙汰されてから随分経つ昨今でも課題は山積みです。環境問題をいち早く訴えたレイチェル・カーソンの人生や考え方に触れることにより、自然や他の生きものとの共生の在り方を考えることができる一冊です。

4 人を見捨てない国、スウェーデン



- ① 三瓶恵子／著
- ② 岩波書店
- ③ 820円
- ④ 30サ013

一人一人を大事にする国スウェーデン。その実態から見えてくる若者たちの生活や考えを通して、日本の制度や未来について考えるきっかけになる一冊です。

5 13歳からの拉致問題 弟と家族の物語



- ① 蓮池透／著
- ② かもがわ出版
- ③ 1600円
- ④ 39ハ013

北朝鮮に24年もの間、弟を拉致されていた著者が、「なぜ北朝鮮は拉致したのか」「残された家族は？」など拉致問題について基礎的なことを丁寧に、中学生にも分かりやすく説明しています。当事者の思いに触れることができる一冊です。

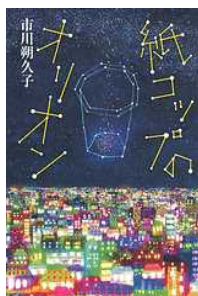
6 ダンゴウオ
海の底から見た震災と再生



- ① 鍵井靖章／著
② 新潮社
③ 2400円
④ 74カ013

震災直後から2012年暮れまで、岩手県宮古市を中心とした海の様子を著者が潜水し、撮影したものです。瓦礫の中でも生き抜く生命、震災から再生する海中の様子と生物たちのたくましい生命力、希望を感じることができる一冊です。

7 紙コップのオリオン



- ① 市川朔久子／著
② 講談社
③ 1400円
④ 91イ013

ある日突然母さんが家を出ていき、主人公の論里と妹の有里、父さんと3人の生活が始まります。今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなり、何かが変わっていく…自分を見つめ直すきっかけになる一冊です。

8 声をきかせて



- ① 桎崎茜／著
② 講談社
③ 1400円
④ 91カ013

主人公砂凧の家は「香老舗みつしま堂」。仏事用の線香やアロマスティックなどを扱っています。香老舗の跡取りなのですが、香りを「聞く」ことができないことを不安に思っています。将来に向かって頑張っている姿に共感できる一冊です。

9 春へつづく



- ① 加藤千恵／著
② ポプラ社
③ 1300円
④ 91カ013

「卒業式の朝だけ、願い事を叶えてくれる『あかずの教室』の扉が開く。」あなたが通う中学校にこのような伝説が伝わるとしたら…。揺れ動く中学生の思いに共感できる作品です。

10 女子読みのススメ



- ① 貴戸理恵／著
② 岩波書店
③ 780円
④ 91キ013

女性が主人公の小説を、女性の書き手によって紹介しています。紹介されている本を読んでみたくすることは間違いありません。女性だけでなく、男性にも読んでもらいたい一冊です。

11 わたしは目で話します

文字盤で伝える難病ALSのこと そして言葉の力



- ① たかおまゆみ/著
- ② 偕成社
- ③ 1200円
- ④ 91タ013

難病ALSを発症した著者自らが、自分の思いを綴っています。言葉を発することができなくなった著者の思いや、言葉の大切さを感じ取ることができます。私たちができることは何か、考えさせられる一冊です。

12 ふたつの月の物語



- ① 富安陽子/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91ト012

養護施設と小さなお寺。別々の場所で育った双子の女の子。この二人の名前は「美月」と「月明」。二人とも「月」という文字が名前に入っています。なぜこの二人が離れ離れで育ったのか。思いもかけない出生の秘密が解き明かされていく作品です。

13 ローズの小さな図書館



- ① キンバリー・ウィリス・ホルト/作
谷口由美子/訳
- ② 徳間書店
- ③ 1600円
- ④ 93 木013

14歳のローズは生活のため、年をごまかして移動図書館の運転手として働き始めました。ローズからその息子、孫、ひ孫と、4世代にわたる10代の頃のそれぞれの生き方を描いた物語です。

14 バンヤンの木

ぼくと父さんの嘘



- ① アーファン・マスター/著
杉田七重/訳
- ② 静山社
- ③ 1600円
- ④ 93 マ013

インド分離独立の前夜、少年ビラルは重い病気で余命いくばくもない父のことを思い、父に大きな嘘をつきます。複雑なインド情勢の中、周囲の仲間や大人たちの助けをかり、父のために生きる少年の物語です。

15 「赤毛のアン」が教えてくれた大切なこと



- ① 茂木健一郎/著
- ② PHP研究所
- ③ 1100円
- ④ 93 木013

小学5年生のころアンの世界に夢中になった著者が、思春期の悩みや喜び、悲しみが詰まった「赤毛のアン」の世界を通して、人生に大切なものを教えてくれます。